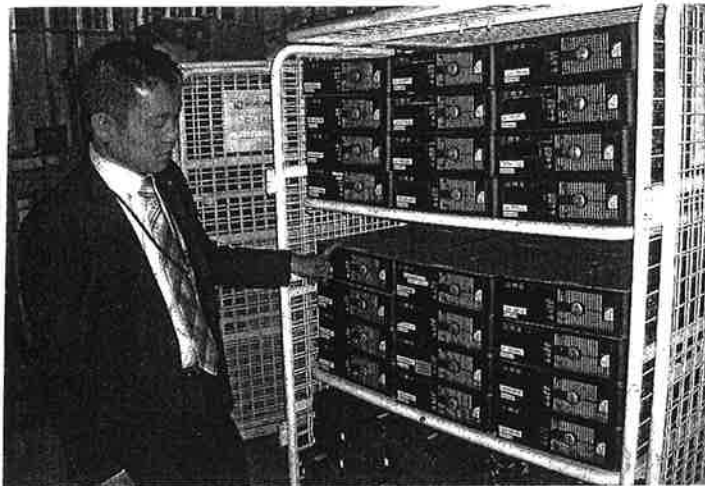


＜第三種郵便物認可＞

パソコン再利用 市場拡大 データ完全消去の技術力武器に



大量のパソコンが運び込まれたブロードリンク福岡支社の作業場

買い取り大手 ブロードリンク九州進出

パソコンの再利用(リユース)市場が拡大している。業界団体によると平成25年度のリユースパソコンの販売台数は過去最高の231万台に達した。中古パソコン買い取り・販売大手のブロードリンク(東京)は、データの完全消去による安全性向上を武器に地方進出を果たし、九州・山口でも多くの顧客をつかんでいる。(津田大賢)

福岡空港近くにあるブロードリンク福岡支社(福岡市博多区)には連日、大量の使用済みパソコンが運び込まれる。大半は買い替えに伴い、企業や官公庁が売りに出した古いパソコンだ。その数は1カ月で約5千台に上るともある。支社内ではまず、ハード

ディスクに残ったデータを完全に消去する。パソコンのデータ消去は厄介だ。消したと思っても一定の知識のある人物が手を加えれば、データを復元できることがある。そのま

ま、第三者の手に渡れば情報漏洩の恐れが生じる。まったくさらな状態にするこ

とが、パソコンリユースの最低限の条件だといえる。同支社の作業場は、指紋認証キーなどセキュリティも徹底している。ブロードリンクは、平成12年、紳影一社長が設立した。仕事に欠かせなくなったパソコンだが、古いパソコンの処分には困る企業が多い。紳氏は「安心して廃棄できるシステム」の市場に着目した。

同社は、完全にデータを消去するための特殊な機材や、技術者を有する。米国防総省が定めるデータ消去の規格も満たす。その技術力が評判を呼び、情報管理に気を使う中央官庁や裁判所、金融機関のパソコン処理も担うようになった。顧客は5千社以上に増えた。

同社は、データ消去だけでなく、基本ソフト(OS)の再インストールや、液晶画面のバックライトなど消耗部品を交換した上で、リユース市場に売りたい。比較的高値で取引されることから、買い取り価格も高く設定できる。

ブロードリンクによると、デスクトップやノート型など360台を産廃処理業者に依頼した場合、運搬やデータ消去なども含めて計85万円程度かかる。ブロードリンクに売却すれば、パソコンの状態にもよるが、処理費用がかかるとい

るか、50万円程度の売却益になるといえる。さらに、中古パソコンのニーズが高まっている。中小企業をはじめ、学校や学習塾で、コスト削減につながる。新品の半額以下の中古パソコンを購入するケースが増えている。

一般社団法人、情報機器リユース・リサイクル協会によると、平成25年度に、リユース業者が買い取った使用済みパソコンは266万9千台、中古パソコンとして販売されたのは231万1千台に達した。いずれも過去最高だった。こうしたリユース市場は、徐々に地方にも広がっている。

ブロードリンク福岡支社の保科尚剛支社長は「九州・山口は、中小企業が多いだけにわれわれのビジネスが役に立っているはず。パソコンリユース率を引き上げることが、社会貢献にもなる。将来的には全都道府県に拠点を置きたい」と語った。

JAL 山口の魅力発信 今月、機内食などで紹介



日本航空は1日、機内誌や機内食などを通して「日本の素晴らしさ」を発信する「ジャパン プロジェクト」で山口県の特集を始めた。今月いっぱい、山口の魅力を発信する。国内線ファーストクラス機内食は、長門市の高級旅館「大谷山荘」が監修し、サンショウ煮や鯛包焼、白飯など郷土料理メニューを用意した。写真。機内誌では「維新の面影を訪ねて」と題し、萩から防府につながる「秋往還」や松下村塾などを紹介している。機内ビデオでも高杉晋作が明治維新の転機となる旗揚げをした大隈・長府をお笑いコンビ「パッカンマツクン」が案内する。国内線ラウンジには「彌祭」など山口の銘酒を用意し、搭乗前から山口の魅力に浸ることができるとい

福岡	最終値	前日比	出来高
日本経済	435	▲0.2	11
日経平均	153	▲0.1	1
東証1st	837	▲0.1	1
東証2nd	586	▲0.1	1
東証3rd	148	▲0.1	1
東証4th	430	▲0.1	1
東証5th	1180	▲0.1	1
東証6th	1131	▲0.1	1
東証7th	1679	▲0.1	1

Q-board	
Am b s	2500
Am b s	699
Am b s	425
Am b s	221
Am b s	342
Am b s	454
ケ	1.2
ケ	1.6
ケ	1.4
ケ	2.2
ケ	3.4
ケ	3.6
ケ	3.2
ケ	2.2
ケ	1.3

EX SANKEI EXPRESS きょうの注目 電子版配信中

grown&sewn 一生もののチノパン
夏菜が挑む美容師・北国・人と人

世界の最新ニュースとエンタメ情報満載の日刊紙「SANKEI EXPRESS」は、スマホなどで読める電子版を配信中。App Store、Google Playでアプリ「産経新聞」をダウンロードして購読できます。